**令和６年度**

**私立学校初任者研修九州地区研修会事前レポートについて**

一般財団法人日本私学教育研究所

私立学校初任者研修九州地区研修会運営委員会

今回の初任者研修会は、研修Ⅲ「やる気を引き出す学習する空間づくり」、研修Ⅳ「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善～R80の活用法と効果を中心に～」の講義を踏まえて、それぞれグループ討議を行います。

そこでグループ討議の資料とするために、参加者は以下の要領で「事前レポート」を作成し、提出して下さい。提出されたレポートは、そのまま印刷・製本してグループ討議の資料として用いるので、以下の指示をよく読んで作成して下さい。

**【事前レポートの作成及び提出方法】**

提出するレポートは、3ページ目の指定用紙のフォーマットに直接入力して提出して下さい。

１．　最上段の枠内には、指定された事項を必ず記載して下さい。

２．　後記の2つの《事前レポート課題》について、それぞれ①、②の項目を記入し、合わせて1ページに収まるよう工夫して下さい。

３．　入力枠内に指定の明朝体・10.5Pで入力して下さい。

４．　提出されたレポートは、そのままグループ討議の資料として印刷・製本するので、作成の際には書式を変更しないで下さい。

５．　レポート完成後は、記入した指定用紙以外の1～2ページを削除し、ファイル名を「初任研事前レポート(県名・氏名)」で保存して下さい。

６．　作成したレポートは、所属学校長の承認を得たうえで、**5月17日(金)の参加申込締切日までに各県私学協会あてのメールに添付して送信**して下さい。

送信の際は、「メール件名」に「初任研事前レポート(県名・氏名)」を

必ず明示して下さい。

７．　WORDで作成し、WORD文書（ファイル）のまま添付してお送り下さい。（PDFの変換は不要です）

**【レポート課題・内容】**

|  |
| --- |
| **研修Ⅲ　「やる気を引き出す学習する空間づくり」の事前レポート** |

**《講師》大矢　純(授業学研究所　所長)**

2006年東京都港区・文京区・足立区での校内研修担当を皮切りに研修・講演活動を開始。2009年授業学研究所創立。日本私学教育研究所、東京・埼玉・神奈川・大阪・兵庫・福岡などの私学協会・連合会、埼玉・秋田・山梨・岡山などの県教育庁や全国各地の市区教育委員会、私立学校・公立学校の校内研修を担当。授業学の確立を通じて、児童生徒のやる気を引き出す「学習する空間づくり」を伝授している。教育立国推進協議会民間有識者委員。

著書に「生徒のやる気を100％引き出す授業」（幻冬舎経営者新書）、私教育新聞で連載。

|  |
| --- |
| **《事前レポート課題１（グループ討議１用）》**授業において「どう説明するか」と同等に「どう伝えるか」が大切です。教師の想いが伝わって児童生徒が集中して授業に取り組むとき、教室は前向きな雰囲気で満たされます。これを授業学では『学習する空間』と呼び、主体的な学びの第一歩です。「学習する空間づくり」のためには教師自身の強みを最大限に活用することが重要ですが、意外に自分の強みに気づいていない場合が多いのです。また、学力向上のためには、授業に対する児童生徒の取り組みかたを伸ばすことが大切です。そのためには、年度初めの状況に応じた年度末のゴールを設定し、段階的に引き上げていくことが重要ですが、これを意識していない場合が多いのです。①授業をしている自分について、児童生徒からの「見えかた」、「聞こえかた」の2項目について強み（売り）とその理由について、それぞれ具体的にかつ簡潔に記載して下さい。②担当しているクラスで「授業前後の挨拶」「教師の説明をきく」「問題演習の取り組みかた」の3つのテーマから1つを選び、その学年と現状、年度末に到達させたい理想の形について、それぞれ具体的にかつ簡潔に記載して下さい。 |

|  |
| --- |
| **研修Ⅳ　「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善****～R80の活用法と効果を中心に～」の事前レポート** |

**《講師》中島博司(株式会社FCEエデュケーション　参与)**

元茨城県立並木中等教育学校校長、元全国高等学校長協会教育課程研究委員長・常務理事

1959年生まれ。茨城県立土浦第一高等学校、筑波大学人文学類卒業。専門は日本考古学・日本史。

茨城県の高校で日本史を教えていた時、オリジナル「スーパー日本史ノート」を開発。それを書籍化した『はじめる日本史要点＆演習』（Ｚ会出版社）はロングセラーになっている。校長就任の2015年から「アクティブ・ラーニング」について研究をはじめ、「R80」「TO学習」「AAL」を考案。

全国各地で180回以上研修会講師をつとめている。定年退職後の2020年にビジネスパーソンに転身し、教員研修総合サイト「Find!アクティブラーナー」や振り返り力向上手帳「フォーサイト」に携わるとともに、日本の教育の未来に貢献するために活動している。2023年11月に飛鳥新社より一般啓発本『R80(アールエイティー』を出版した。趣味は、登山、美術展覧会見学、ガンプラ！

|  |
| --- |
| **《事前レポート課題２（グループ討議２用）》**あなたは、日々、教員としてどのようなことを心がけていますか。具体的に2つあげて下さい。また、学習指導要領の本文及び解説において、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善）」がこれからの教育には大切であることが述べられています。このことについて、あなたが授業で取り組んでいることを、具体的に2つ記載して下さい。①教員として心がけていることは何ですか。2つあげて下さい。②「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善）」について、どのような取り組みをしていますか。2つ記載して下さい。 |

**令和６年度私立学校初任者研修九州区研修会　事前レポート**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **№〈記入不要〉** | **グループ****〈記入不要〉** | **県　名** | **性別〈○で囲む〉** |
|  |  | **県** | **男　・　女** |
| **学　　校　　名** | **氏　名　(ﾌﾘｶﾞﾅ)** |
|  | **( )** |
| **教　科** | **校務分掌** | **担当(担任)学年・** | **担当部活動** |
| **科** |  | **年** |  |

**研修Ⅲ「やる気を引き出す学習する空間づくり」**

|  |
| --- |
| ①*生徒からの「見えかた」、「聞こえかた」の2項目での強み(売り)とその理由*②*「授業前後の挨拶」「教師の説明をきく」「問題演習の取り組みかた」のうち1つにつき、学年と現状、年度末に到達させたい理想の形* |

**研修Ⅳ「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善～R80の活用法と効果を中心に～」**

|  |
| --- |
| ①*教員として心がけていること（2つ記載）*②*「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善）」についての取り組み（2つ記載）* |